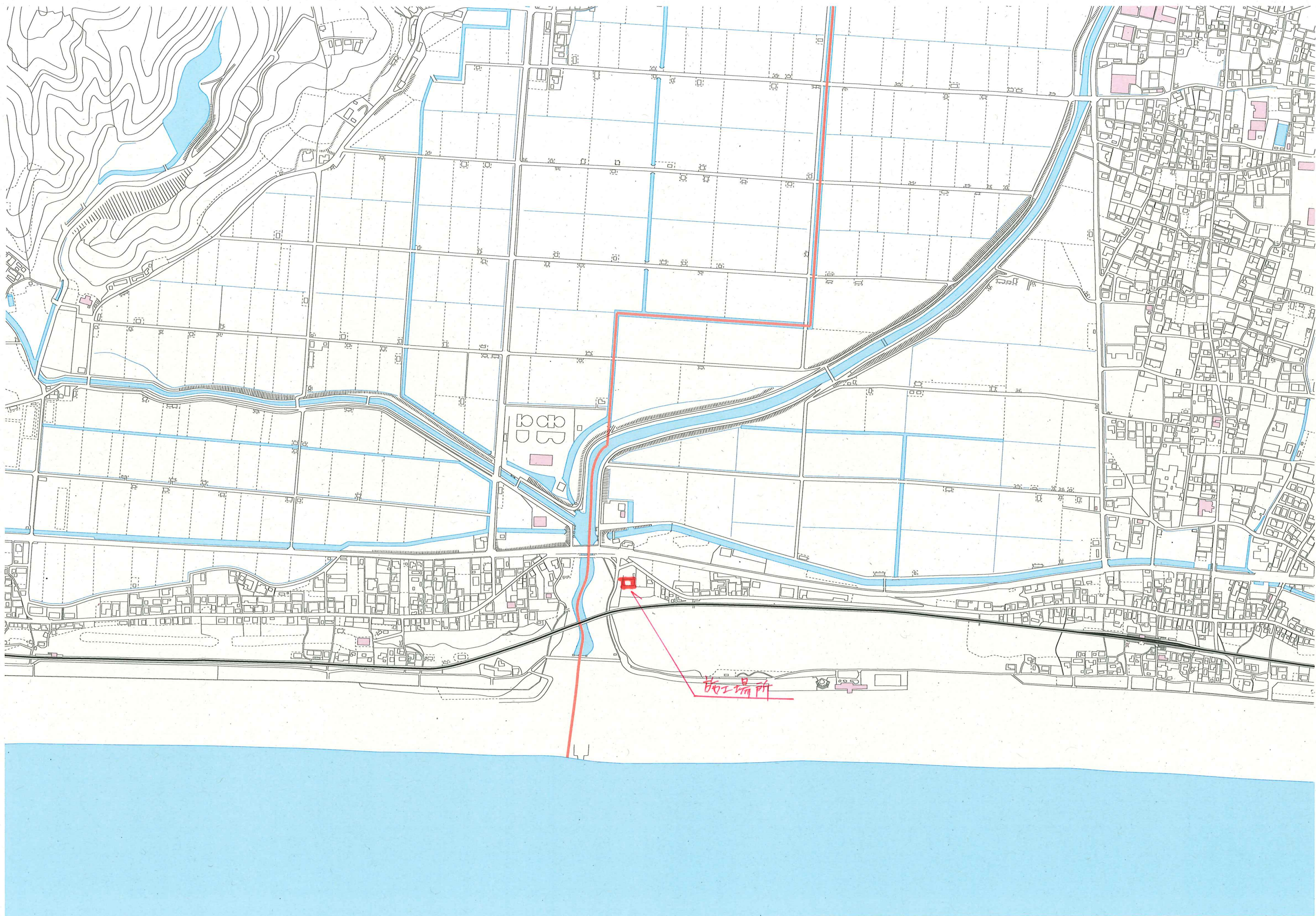
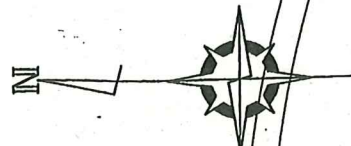






床面積
18.2×11.82=33.124
18.2×10.01+2.73×14.56=221.93

- ③ 18.2×12.74=57.967
- ④ 14.56×12.74+3.64×0.455=48.029
- ① 12.74×18.2=4=57.06+8.281=65.241
- ② 18.2/4×10.01+2.73×0.91=47.98+8.281=56.3

調理室換気計算
 $V = 30KQ$
 $V = 30 \times 0.93 \times (6.84 \times 3) = 572.508$
 $V = 580.84m^3 < 660 \quad OK$

⊗	24H換気
←□	給気口

居室の有効採光面積						
室名	床面積	必要採光面積		有効補正係数	有効窓面積	非常照明関係
物品販売所	185.49㎡	S × 1/20 (㎡) 9.27	S × 1/7 (㎡) 26.4	D/H × 10 - 1.0 9.0	1.5 × 2 × 2 = 8 1.5 × 1.8 × 2 = 5.4 0.5 × 1.85 × 3 = 2.7 0.8 × 0.8 × 2 = 1.28 15.45㎡	15.45 × 9 = 139.05 > 9.27 OK
物品検査室	9.93㎡	0.5	1.41	9.0	0.8 × 1.6 = 1.44㎡	1.44 × 8 = 12.88 > 0.5 OK
軽食調理室	19.87㎡	1.0	2.83	9.0	1.2 × 0.9 = 1.08㎡	1.08 × 9 = 9.72 > 1.0 OK

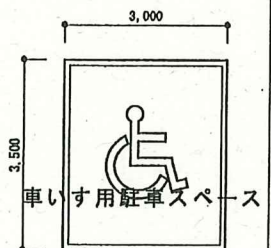
有効換気面積	
物品検査室	$0.8 \times 2.0 = 1.6 > A/20 \quad OK$
軽食調理室	$0.8 \times 2.0 + 0.8 \times 1.2 = 2.56 > A/20 \quad OK$
物品販売所	$0.56 \times 1.65 \times 3 = 2.475$ $2.00 \times 1.00 \times 2 = 4.000$ $0.70 \times 1.80 \times 2 = 2.520$ $0.80 \times 0.80 \times 4 = 2.560$ 11.65 > A/20 OK

調理室換気計算
 $V = 30KQ$
 $V = 30 \times 0.93 \times (6.84 \times 3) = 572.508$
 $V = 580.84m^3 < 660 \quad OK$

⊗	24H換気
←□	給気口

平 屋 建	必要 軸組 長さ	床面積により必要とされる長さ		見付面積に必要とされる軸組の長さ									
		床面積 m/m ²		X方向に必要とされる軸組の長さ					Y方向に必要とされる軸組の長さ				
		239.02 m ² × 0.15 (ト) = 35.85 m		Y方向の見付面積で計算する Y行方向の見付面積 44.69 × 0.50 m/m ² = (チ) 22.34 m					X方向の見付面積で計算する X間方向の見付面積 74.99 × 0.50 m/m ² = (リ) 37.49 m				
	有効 軸組 長さ	軸組の種類		1階X方向に入れる軸組					1階Y方向に入れる軸組				
				軸組の長さ × 個所 × 倍率 × 有効軸組の長さ					軸組の長さ × 個所 × 倍率 × 有効軸組の長さ				
		1.82 m		11カ所	2	40.04 m		3.64 m		4カ所	2	29.12 m	
		"		"	"	"		1.82 "		2 "	2	7.28 "	
		"		"	"	"		0.91 "		6 "	2	10.92 "	
		"		"	"	"		"		"	"	"	
		"		"	"	"		"		"	"	"	
判 定		(ト) 35.85 m	(チ) 22.34 m	合計 40.04 m		(ト) 35.85 m	(リ) 37.49 m	合計 47.32 m					

(イ)、(ニ)、(ト)・・・床面積により必要とされる軸組の長さ
(ロ)、(ハ)、(ホ)、(ヘ)、(チ)、(リ)・・・見付面積により必要とされる軸組の長さ
判定は有効軸組の合計の長さが、法により必要とされる長さ(床面積によるものと、見付面積によるもの)より大きければよい。



▲ 筋かい 150×45 シングル

1階平面図 S=1/100
18.200×11.830+2.730×14.560=255.054m²

壁配置の算定					存在壁量 X方向					存在壁量 Y方向											
(算定式)					軸組の長さ × ヲ所 × 倍率 × 有効軸組の長さ = 合計					軸組の長さ × ヲ所 × 倍率 × 有効軸組の長さ = 合計											
平 屋 建	必要壁量=側壁部分面積 ×				①	1.82	m	5	2	18.2	m	18.2	m	③	3.64	m	2	2	14.56	m	m
	壁量充足率=存在壁量 / 必要壁量				②	1.82	m	6	2	21.84	m	21.84	m	③	0.91	m	3	2	5.46	m	m
	壁量充足率 > 1.0 OK NGの場合次へ				○		m				m		③	1.82	m	1	2	3.64	m	23.66	m
	壁比率 = 壁量充足率(小) / 壁量充足率(大)				○		m				m		④	3.64	m	2	2	14.56	m	m	
	壁率比 > 0.5の場合 OK				○		m				m		④	0.91	m	3	2	5.46	m	m	
					○		m				m		④	1.82	m	1	2	3.64	m	23.66	m
					○		m				m		④								
					○		m				m		④								
必要壁量					壁量充足率					壁率比											
			面積 × 地耐力 = 必要壁量		存在壁量 / 必要壁量 = 壁量充足率					壁量充足率 > 1.0 判定					壁量充足率(小) / 壁量充足率(大) = 壁率比 壁率比 > 0.5 判定						
X 方 向	①	50.22	m ²	0.15	7.53	m	18.2	m	7.53	m	2.41	OK									
	②	56.31	m ²	0.15	8.44	m	21.84	m	8.44	m	2.58	OK									
	③	61.24	m ²	0.15	9.18	m	23.66	m	9.18	m	2.57	OK									
	④	56.95	m ²	0.15	8.54	m	23.66	m	8.54	m	2.77	OK									
Y 方 向																					